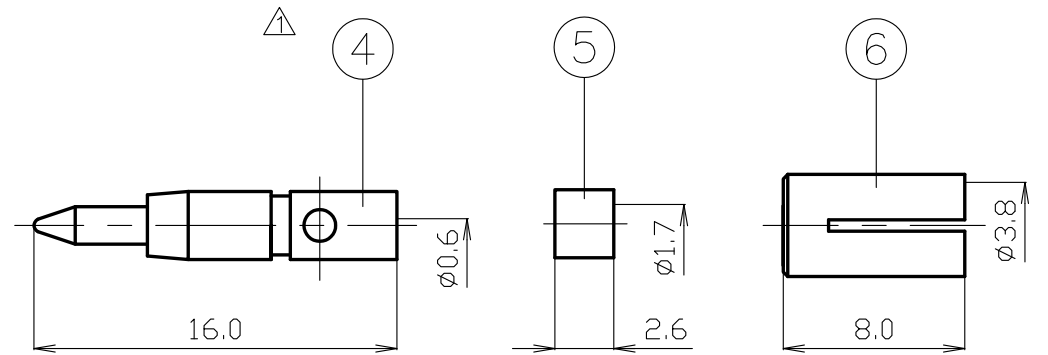
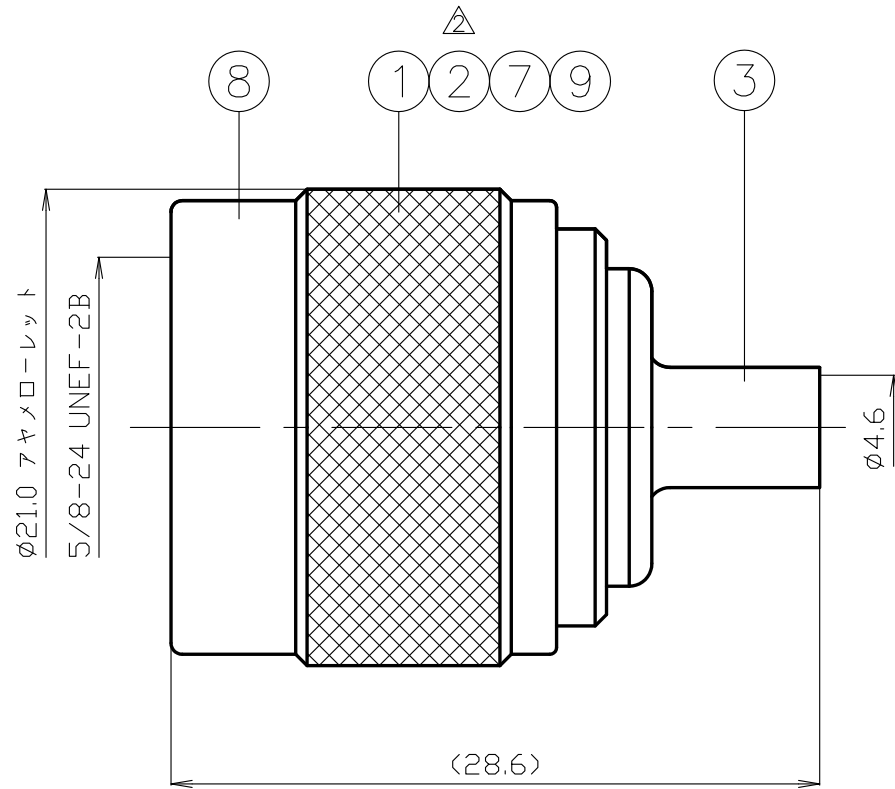


番号	変更・記事	日付	確認
△1	改良の為、中心コンタクト寸法変更	2004.11.24	済
△2	改良の為、絶縁体寸法変更	2004.11.24	済
△3	社名変更	2012.01.05	済
△4	図面外観化、RoHS表記追記	2017.01.25	済
△5			



△4

RoHS Compliant [Cd ≤75ppm]	
REMARKS	BRASS: Cd ≤75ppm PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

番号	部品名	材質	数量	処理	備考
9	ガスケット	シリコン	1	--	
8	接続ナット	黄銅	1	Ni	
7	保持リング	りん青銅	1	--	
6	クランプ	黄銅	1	Ni	
5	スペーサ	テフロン	1	--	
4	中心コンタクト	黄銅	1	Au	
3	ホルダー	黄銅	1	Ni	
2	絶縁体	テフロン	1	--	
1	シェル	黄銅	1	Ni	

尺度	3/1
単位	mm
日付	2001.03.28

製 図	検 図	承 認	確 認
渡邊 '17.01.25 直弘	檜 '17.01.25 澤	山 '17.01.25 本	三 '17.01.25 村

品 名	NP-1.5WA
図 番	S-0511433

仕 様 書

品 名 NP-1.5WA

No. 0510472

図 番 S-0511433

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS C 5411
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 10 GHz
 4 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成
山 12.01.05 本	檜 12.01.05 澤	山 12.01.05 口

	項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 S-0511433)	異常のないこと
2			
3			
4	絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ以上
5	耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
6	接 触 抵 抗	接触間の電圧降下は、約1KHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて	3mΩ以下
7			
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9	ケーブル接続強度	軸方向引張力 49N以上	異常のないこと
10	結合部接続強度	軸方向引張力 約294Nを加えたとき	接続ナットに 異常のないこと
11			
	繰り返し動作	5000回の抜き差し後	接触抵抗は10mΩ以下

GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012. 01. 05
2		
3		

NP-1.5WA 取付仕様書

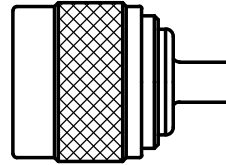
図番 S-0511433



作成	確認
山 '12.01.05 口	山 '12.01.05 本

部品構成

専用圧着工具
TA-16
(本体表示：DCC 0908)



シェル



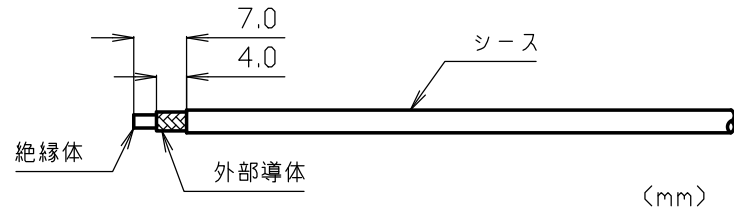
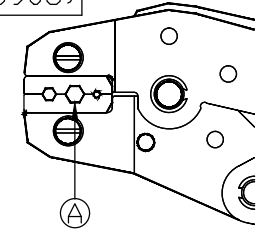
中心コンタクト



スペーサー

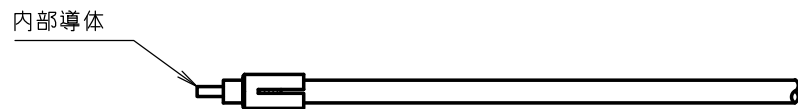


割クランプ

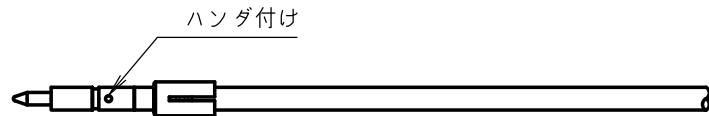


番号	変更・記事	日付
△1	社名変更	2012.01.05
△2		
△3		

1 同軸ケーブルを図中の寸法で切りとる。



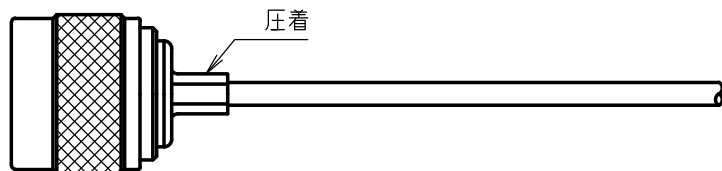
2 外部導体を折り返し、クランプ、スペーサーの順で挿入する。
次に、絶縁体をカッターで切り取り内部導体を出す。



3 中心コンタクトを挿入してハンダ付けをする。

※注意

この時中心コンタクトとスペーサーの間に隙間がないこと。
装着した後に中心コンタクトが定位置に入ったかを手で軽く
引っ張り、抜けないかを確認する)



4 シェルに圧着した中心コンタクトを挿入する。(プチンと
中心コンタクトが定位置に入った事を確認する)
次にシェルを圧着工具のA部で圧着して作業を完了する。